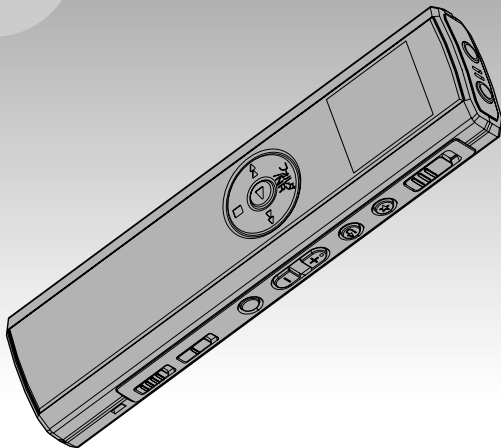
TOSHIBA

東芝メモリーレコーダ取扱説明書

形名 DMR-3500PS/1800PS

保証書付

保証書はこの取扱説明書と一体になっておりますので記入をお受けください。

- このたびは東芝メモリーレコーダをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのメモリーレコーダを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- この取扱説明書はDMR-3500PS、DMR-1800PSで共用です。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は以下のようになっています。

[表示の説明]

表　　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

⚠警告

分解禁止

お客様ご自身で修理・改造・分解はしないこと
発熱・発火の原因となります。

指　示

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常の場合はすぐに本機から AC アダプターや電池を取りはずすこと
そのまま使用すると、発熱・発火の原因となります。

禁　止

ペースメーカーなど体内に機器を装着されている方の近くや航空機など電子機器の使用が制限されている場所で使用しないこと

禁　止

本機の中に水や異物を入れないこと
発熱・発火の原因となります。

⚠注意

禁　止

本機をふりまわさないこと
けが・事故の原因となります。

禁　止

本体を口に入れる、なめる、かじる等はしないこと
けが・事故の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

禁　止

運転中・歩行中に操作しないこと
事故の原因となります。

受信障害について
本機をラジオ、テレビ、携帯電話、その他デジタル機器などに近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、本機を離してご使用ください。

電池に関する安全上のご注意

- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼にはいったり、発熱・破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、眼にはいったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

以下のことを必ず守ってください。電池の使いかたを間違えますと、液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 同梱の電池は充電することができません。充電すると液もれや破裂のおそれがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、電池を本機から抜いてください。
- 充電式電池をご使用になる場合は、電池及び充電器の説明書をよくお読みになり、正しい取扱いをしてください。
- ＋、－を正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池をまぜて使わないでください。
- 使い切った電池は、本機から取り出してください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損害、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸脱利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因する録音の失敗や録音内容の消失による損害および逸脱利益等に関して、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

- 本機に強い衝撃を与えないでください。録音中の内容が記録されないばかりでなく、記録済みの内容が破壊される原因となります。
- 電池の消耗により、録音データが消えることはありませんが、万一のために大切なデータは、バックアップをお勧めします。
- 携帯電話やPHSの近くで録音するとノイズがはいることがあります。そのときは、本機を離してご使用ください。

使用上のお願い

- 本機の表示部に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。また、表示部の特性上、力を加えると表示が異常となります。
- 本機を水がかかる所、湿気やホコリの多い場所、油煙や湯気の当たる所、暖房器具のそばや直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 本機を窓の締め切った自動車内に放置しないでください。車内が高温になることがあり、変形・変色・故障の原因となったりすることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネットのよごれは柔らかい布で軽くふき取ってください。

- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

録音環境（推奨条件）

- 本機は、７～８人程度までが収容できる小会議室での会議録音、または個人による口述録音をするのに適しています。
- これ以外の環境条件でご使用の場合には、目的に適した外部マイク(マイク自体の仕様は、外部マイクのメーカーにお問い合わせください)をお使いになるか、事前に録音試験をするなどで動作確認されることをお勧めします。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズがはいることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。
- 録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤホーンをマイクに近づけすぎたりすると、イヤホーンの音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。

著作権について

- あなたが、録音したものは、個人として楽しむことなどを除いては、 著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示などをすることはできません。
  なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている音声が記録されたデータの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

ラジオ、テレビなどへの電波障害について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスB情報装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

もくじ

各部のなまえ

くわしくは、なまえの☞内のページをご覧ください。

■ 表示部

録音件数/メニュー表示

録音件数 10ページ
録音するたび、録音件数が一つずつ増加し、A,B,C各フォルダに最大199件まで録音できます。

メニュー (24ページ〜33ページ)
停止中(停止ボタンを押したとき)、メニューボタンを押すと、メニュー表示になります。ボタンを押すごとに下記のように変わります。

UHQ/HQ/SP(録音モード)→**VOR**(自動録音)→**ALI**→**AL2**(アラーム設定)→**PR**(タイマー予約設定)→**CL**(時計設定)→**bE**(ビープ音)→**Vt**(ボイスタイトル)→**Fo**(フォーマット)→ 録音件数

アラーム表示 ((•)) 26ページ

メニューでALIまたはAL2をonにすると表示します。

ステレオ表示 ST 13ページ 23ページ

外部マイク端子に付属のステレオマイクを接続すると表示されます。ステレオ録音されたファイルを再生すると表示します。

録音モード表示 24ページ

UHQモード、HQモード、SPモードが選べます。

日付/インデックス/モード表示

21ページ 24ページ 26ページ
日付、Ind、on/oFFモードを表示します。

カウンター/時刻表示 10ページ 14ページ

カウンターまたは時刻を表示します。

フォルダ表示 10ページ 14ページ

録音するA,B,Cフォルダを選びます。

再生表示 ▶ 14ページ

再生のとき表示します。

録音表示 ● 10ページ

録音のとき表示します。

電池マーク表示 9ページ

電池の残量を表示します。

ノイズリダクション表示 NR 23ページ

再生中ノイズリダクションをONにすると表示します。

自動録音表示 AUTO 25ページ

自動録音をONにすると表示します。

ホールド表示 20ページ

ホールドスイッチを矢印の方向にすると、表示します。

リピート表示 15ページ

再生中、メニュー/ボタンを押すと表示します。

重要マーク表示 ★ 20ページ

重要ボタンを押すとその録音件数に★マークが付きます。

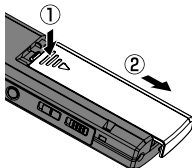
消去表示 18ページ 19ページ 33ページ

消去ボタンを押すと点灯します。

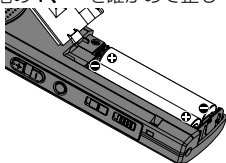
ボイスタイトル表示 11ページ 16ページ 32ページ

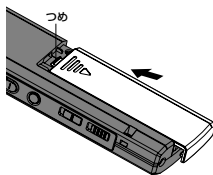
録音件数にタイトル録音が入っているとき表示します。

電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらす

① 押しながら
② 手前に引く

2 電池ぶたを上げ、電池を入れる

● 電池の+、−を確かめて正しく入れてください。

● 単四形アルカリ乾電池LR03を2本使用します。

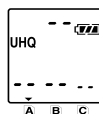
3 電池ぶたを閉める

奥に押す

● パチッと止る所まで押します。

お願い

電池を入れたら表示部の点灯を確認してください。

電源切り時

電源入り時

停止ボタンを押すと、電源が入ります。もう一度押すと、電源が切れます。

表示部が点灯しない場合は、速やかに電池を取り出し、正しく入れ直してください。それでも表示部が点灯しない場合は電池を取り出し、点検・修理を依頼してください。表示部が点灯しないまま電池を入れておくと発熱・発火のおそれがあります。

電池交換について

■ 電池マークについて

電池の残量の変化に合わせて、以下のように変わります。
おおよその目安としてお使いください。

電池の残量	多い	→	少ない	交換	交換
マークの点灯	→	→	→	→	（点滅）

■ 電池交換時の注意点

●「電池マーク」（ ）が点灯したら、以下の操作をしてから必ず２本とも新しい電池と交換してください。

●停止ボタンを押して、電源を切ってください。

お知らせ

● 電池交換について

電池を抜いても時計などの設定は約3分間保持されます。3分を経過すると、時計の設定は消えます。

●録音時、電池マークは点滅していないのに、再生にすると点滅（ ）することがあります。

これは録音時と再生時の消費電力の違いによるものです。
電池が消耗しているので新しい電池と交換してください。

●録音中に電池が消耗すると自動的に電源が切れます。ただし、それまで録音した内容は保存されます。

● ステレオ録音時は電池持続時間は短くなります。

● 低温時は乾電池の性能が低下し、常温時より電池寿命が短くなります。

● 別売のACアダプターを使用時は、電池マークは表示されません。

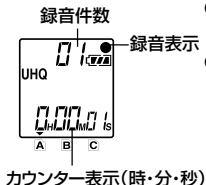
録音のしかた

A、B、Cの3つのフォルダにそれぞれ199件までの用件を録音できます。
録音スイッチを上げると、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

1 停止ボタンを押して電源を入れ、録音したいフォルダを選ぶ

● フォルダ/NRボタンを1秒押し続けると次のフォルダに変わります。録音したいフォルダを選びます。

2 録音を始める

録音スイッチを上げる

● **録音が始まるまで2〜3秒かかります。**
● カウンター表示にFULLが表示されたときは録音できません。
● カウンター表示は、目安としてお使いください。

お願い：録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されますのでご注意ください。
録音中に電池がはずれる(落下などで)と録音中の内容が消えてしまいますのでご注意ください。

録音を一時停止するときは

停止ボタンを押します。

● 録音表示とPAUSEが点滅します。
● 停止ボタンをもう一度押すと、録音を再開します。

録音スイッチを上げるたびに録音件数は1件ずつ増加します。

● 録音件数はA、B、Cフォルダに1フォルダあたり最大199件まで録音ができます。
● 録音回数、録音時間によっては、合計の録音時間は、最長録音時間よりも短くなることがあります。

録音を止める

録音スイッチを下げる

- 録音を停止し、電源が切れます。
- ボイスタイトルがonのときは、💬が10秒間点滅してから、電源が切れます。
- 停止ボタンでは、録音を停止できません。録音一時停止になります。

■ 今録音したばかりの内容を聞くには

- 録音を終えた後、再生ボタンを押すと、今録音した内容の始めから聞くことができます。

■ ボイスタイトルの録音

録音した内容にタイトルを7秒間録音することができます。出荷時は、onに設定されています。(OFFにするときは、32ページ参照)

1 録音を始める

- 通常の録音をします。
- この時点では、まだボイスタイトルの録音は行われません。

2 録音を止める

- ボイスタイトル録音待機モードになり💬が10秒間点滅します。
- 待機モードが10秒すぎると、電源が切れます。
- 途中で、待機モードを解除するには停止ボタンを押します。
- 途中で、再生ボタンを押すと、再生になります。

3 10秒以内にインデックス/(重要)ボタンを押す

- ボイスタイトル録音が開始されます。
- 7秒間タイトル録音ができます。
- 7秒すぎると録音を停止し、電源が切れます。
- 途中では、録音を停止できません。
- 新しく、録音を始めると、タイトル録音は解除されます。

■ 自動録音機能(ボイススタート録音)

● 自動録音機能を使うと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります、そのため無音録音がなくなり、効率のよい録音をすることができます。(自動録音の設定は、25ページ参照)

on：録音を始めると、音が小さいときには、自動的に録音を一時停止にします。一時停止のとき、録音表示、PAUSEが点滅します。

oFF：自動録音が解除されます。

お願い

自動録音機能は周囲の環境（雑音やざわめき声など）に左右されますので事前に動作をご確認ください。また、録音環境に合わせてマイク感度を切り換えてください。大切な録音をするときは、自動録音の設定を「oFF」の状態にしてお使いください。

■ マイク感度の切換

● マイク感度スイッチで録音の感度を変えることができます。

マイク感度

会議・・口述

会議：会議などの会話を取り込み易いようなやや高めの感度です。通常録音状態。

口述：至近距離の目的音が取り込み易い低めの感度です。

■ 録音モニター

● 録音中、イヤホーンをイヤホーン端子につないでおくと、録音中の音声を聞くことができます。モニター音は音量ボタンで調整できます。(録音レベルは変わりません)

● 録音中は、イヤホーンをマイクに近づけないようにしてください。

■ 残量時間を表示させるには

● 録音中に再生ボタンを押している間、現在の録音モードの残量時間が表示されます。

残量時間

● 録音件数の表示が“RE”(REMAIN)になります。

● 録音中のため、残量時間は減っていきます。

● 残量時間表示は、おおよその目安で、そのとき設定されているモードで録音可能な時間です。

● ビープ音の設定がonのときでも操作音は出ません。

■ ステレオ録音

● マイク端子に付属のステレオマイクを接続すると、STマークが点灯します。(マイクの接続は、35ページ参照)

● 外部マイクで録音を開始し、録音途中に外部マイクをはずすと、ステレオモードは継続しますが、L,Rともに同じ音声が内蔵マイクから録音されます。STマークは点灯のままです。(内蔵マイクはモノラルです)

● 外部モノラルマイクを接続時は、STマークは点灯しますが、Lチャンネルだけに録音されます。

● 録音中に、外部マイクを接続したときは、Lチャンネルだけに録音されます。STマークは点灯しません。

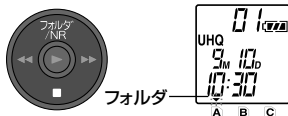
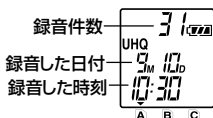
● 内蔵マイクで録音を開始し、録音途中でステレオマイクを接続したときは、録音モニターはステレオで聞こえますが、マイクのLチャンネルの音声だけがモノラルモードで録音されます。STマークは点灯しません。

お知らせ

- 録音中にメモリーがいっぱいになると、カウンター表示に“FULL”を表示し点滅します。また、録音件数が“199”表示のときに録音スイッチを入れるとカウンター表示に“FULL”を表示しそれぞれ点滅します。“199”が表示されたときは、メモリーが残っていても録音できません。この状態のまま約3分経過すると自動的に電源が切れます。新しく録音するには、録音内容を消去(18ページ)してから録音してください。
- 録音・消去を何回も繰り返し行うと、録音しようとしたとき、“FIL”と“FULL”表示が点滅することがあります。このときは、「フォルダごとの全内容を一度に消去する」(19ページ)または、「フォーマット」(33ページ)の操作をしてください。

再生のしかた

あらかじめ録音してある内容を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの内容を聞くには、手順3から行ってください。

1 停止ボタンを押して電源を入れ、フォルダ/NRボタンを1秒押し続け、聞きたい音声のフォルダを選ぶ

2 サーチボタン◀◀(ダウン)▶▶(アップ)を押し、再生したい録音内容を選ぶ

- 最後に録音、または再生した録音件数が表示されます。
- 録音件数が“－－”点灯したときは、録音内容がない場合です。
- サーチボタンを押す度に録音件数は一つずつ変ります。インデックスが付けられているときは、インデックスのところで止まります。
- サーチボタンを押し続けると録音件数は連続で変ります。

3 再生ボタンを押し、再生を始める

- 音量ボタンで音量を調整します。停止中や再生中に音量ボタンを押すと、VOLと数字が表示されます。可変範囲:0～20
- 電源が切れている状態で再生ボタンを押したときは、最後に録音した録音件数の再生を始めます。ただし、再生中に停止したときや電源を切ったときは、その場所から再生が始まります。

4 止めるには、停止ボタンを押す。電源を切るときは、もう一度押す

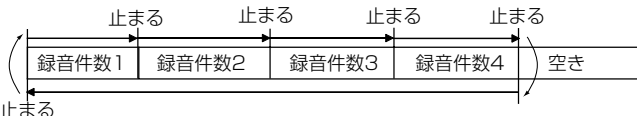
- 最後の録音内容の再生が終わると、そこで停止します。
- 停止状態のまま約3分経過すると自動的に電源が切れます。
- 電源「切」時は、日付と時刻表示になります。

■ 再生中の早戻し早送り

再生中に早戻しや早送りで聞きたい音を早く選ぶことができます。

再生中に サーチボタン◀◀(ダウン)▶▶ (アップ)を押す

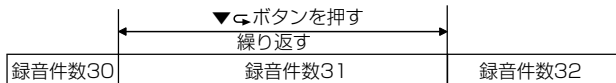
- 一度押すと数秒進み、連続押しで早戻しまたは早送りとなります。
- 録音件数と経過時間の表示は減少または増加します。
- 再生表示が点滅します。

- 停止中にサーチボタンを押すと、各録音内容の最初の位置で止まります。

■ リピート再生

同じ内容を繰り返し聞くことができます。

再生中に メニュー/⊊ボタンを押す

- ⊊が表示され、録音件数の区間で繰り返し再生されます。
- インデックス付きでのリピート再生はインデックス間で繰り返し再生されます。
- もう一度、メニュー/⊊ボタンを押すか、停止ボタンまたはサーチボタンを押すと解除されます。

録音件数30	▼⊊ボタンを押す 繰り返す 録音件数31	録音件数32

■ 残量時間を表示させるには

再生中に再生ボタンを押している間、残量時間が表示されます。

残量表示

- 表示部に録音可能な残量時間を表示します。
- 録音件数の表示が " RE " (REMAIN)になります。
- 残量時間表示は、おおよその目安で、そのとき設定されているモードで録音可能な時間です。

■ イヤホーンで聞くには

付属のイヤホーンをイヤホーン端子につないでください。スピーカーからの音は出なくなります。

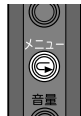
ボイスタイトルの再生のしかた

録音済みの録音件数にもタイトルを録音することができます。
再生時に、タイトル録音の内容だけを聞くことができます。
(OFFにするときは、32ページ参照)

■ 録音されているデータにボイスタイトルを録音する

1 停止ボタンを押して電源を入れる

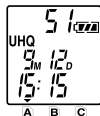
2 サーチボタン◀◀または▶▶でタイトルを入れたい録音件数を選ぶ

3 停止ボタンとメニューボタンを同時に1秒以上押す

- ボイスタイトル録音待機モードになり が10秒間点滅します。

4 10秒以内にインデックス/(重要)ボタンを押す

- ボイスタイトル録音が開始されます。
- 7秒間タイトル録音ができます。
- 7秒すぎると録音を停止し、電源が切れます。
- ボイスタイトルが録音されている録音件数では、新しいタイトルが上書き録音されます。
- 途中では、録音を停止できません。

■ ボイスタイトルの再生

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 サーチボタン◀◀または▶▶でタイトルを入れた録音件数を選ぶ

● 💬 が2秒間点滅します。

3 2秒以内に再生ボタンを押す

● タイトル再生が開始されます。
● 7秒すぎると再生を停止します。
● 途中でほかのボタンを押すと、タイトル再生を停止します。

録音した内容を消去するには

録音した内容を一つずつ、または一つのフォルダ内の全内容を一度に消去することができます。一度消去した内容は元に戻すことができませんので、ご注意ください。

■ 録音した内容を一つずつ消去する

消したい録音件数の内容だけを消去することができます。
重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。
内容を消すと、次の内容が自動的に繰り上がるので、間に空白部分はできません。

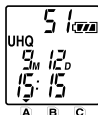
消去前	録音件数1	録音件数2	録音件数3	録音件数4	録音件数5	空き

↓ 録音件数3を消去する

消去後	録音件数1	録音件数2	録音件数3	録音件数4	空き

録音内容の番号が繰り上がる

---

1 **停止ボタンを押して電源を入れる**

●消去したい録音データがあるフォルダを選んでください。(フォルダの変更はフォルダボタンを1秒押しつづけます)

---

2 **サーチボタン◀◀または▶▶で消去したい録音件数を選ぶ**

● 消去する内容を、再生して確認してください。
● 重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。消去するときは、重要マークを解除してから消去してください。(20ページ参照)

---

3 **消去ボタンを1秒以上押したあとに再生(決定)ボタンを押す**

消去表示

● “🗑”が点滅し消去を開始します。
● 消去が終わると“🗑”が消灯します。
●録音されている時間によって、“🗑”の点滅時間は異なります。
● 内容が消去され、以降の録音件数が繰り上がります。
●録音が一つだけのとき、消去すると録音件数とカウンター表示が“－－”になります。

■ フォルダごとの全内容を一度に消去する

録音したすべての内容をフォルダごとに一度に消去することができます。
ただし、重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。

消去前 | 録音件数1 | 録音件数2★ | 録音件数3 | 空きスペース

↓

消去後 | 録音件数1★ | 空きスペース

1 **停止ボタンを押して電源を入れる**

●消去するフォルダを選んでください。(フォルダの変更はフォルダボタンを1秒押し続けます)

2 **停止ボタンと消去ボタンを同時に1秒以上押し続ける**

●“ALL ERASE”と表示されます。

3 **再生ボタンを押す**

●“🗑”が点滅し消去を開始します。

●消去が終わると、録音件数とカウンター表示が“−−”になります。

●重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。消去するときは、重要マークを解除してから消去してください。(20ページ参照)

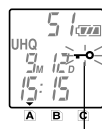
これで消去は完了しました。

その他の機能の使いかた

■ ホールド機能(誤動作防止機能)

不用意に再生などの動作にはいらないための機能です。

ホールドスイッチを矢印の方向にすると「入」になります。

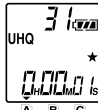
操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対方向にしてください。

ホールド表示

- ホールドスイッチが「入」のとき、操作ボタンを押すと“ ⊸ ”表示が約3秒間点滅し動作しません。
- 電源が切れている状態で　ホールドスイッチを「入」にして、停止ボタン、再生ボタンを押すと“ ⊸ ”表示が約3秒間点滅して、電源が切れます。
- 録音動作では、ホールド機能は動作しません。

■ 重要マーク機能

重要な録音内容にマーク(★)を付けておくと、マークの付いた録音内容を頭出しすることができます。また、マークを付けておくと誤って消したりすることがありません。

1. 重要マークを付けたい録音件数を選ぶ

2. 停止中に停止ボタンを押しながら、インデックス/(重要)ボタンを1秒以上押します。

- 録音件数に重要マーク(★)が付きます。
- 重要マークを消すときは、停止中に停止ボタンを押しながら、インデックス/(重要)ボタンを1秒以上押します。重要マーク(★)が消えます。

● 重要マークの頭出し

重要マークを付けた録音内容だけをサーチすることができます。

停止中に、インデックス/(重要)ボタンを押しながらサーチボタンを押します。

- 重要マーク(★)の付いた所で止まります。
- 再生ボタンを押すとその録音内容が聞けます。

停止

★録音件数3	録音件数4	★録音件数5	録音件数6

■ インデックス機能

録音中または再生中に、録音件数とは別に「インデックス」を付けることで、サーチボタンで録音内容の頭出しができます。インデックスを付けると、会議など長時間録音のときに、再生したい場所が素早く探せたり、インデックスの区間をリピート再生することができます。

● 録音中にインデックスを付けるには

録音中に、頭出ししたいところでインデックス/(重要)ボタンを押す

- 押したところにインデックスが付けられ、“ Ind ”を約1秒表示します。録音は途切れずに続けます。

● 再生中にインデックスを付けるには

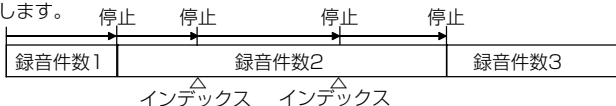
再生中に、頭出ししたいところでインデックス/(重要)ボタンを押す

- 押したところにインデックスが付けられ、“ Ind ”を表示し停止します。

●インデックスを消すには

停止中に、サーチボタンで消したい“ Ind ”を探し、インデックス/(重要)ボタンを1秒以上押します。

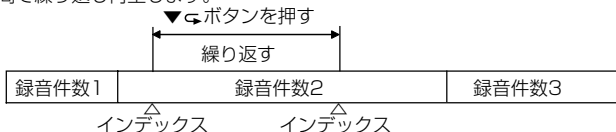
●インデックスを付けたところを探して聞くには

停止中に、サーチボタンを押し、聞きたいインデックスのところを探し再生ボタンを押します。

●インデックスを付けたところを繰り返し聞くには

インデックスを付けたところで 再生中に、メニュー/⟲ボタンを押すとインデックス区間で繰り返し再生します。

▼⟲ボタンを押す

繰り返す

録音件数1　録音件数2　録音件数3

インデックス　インデックス

- 再生中は、“ Ind ”表示は出ません。

お知らせ

インデックスを付けられるのは1つの録音件数に対し最大125カ所までです。

その他の機能の使いかた(つづき)

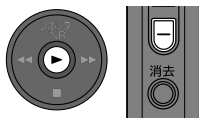
■ 再生スピードを調整する

● 早聞き再生

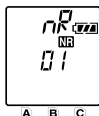
再生中に、再生ボタンを押しながら、音量ボタンの＋を押すと、早い速度で再生されます。

- 約1.2倍の早聞き再生になります。
- 早聞き再生を止めるには、停止ボタンを押します。

● 遅聞き再生

再生中に、再生ボタンを押しながら、音量ボタンの－を押すと、遅い速度で再生されます。

- 約0.8倍の遅聞き再生になります。
- 遅聞き再生を止めるには、停止ボタンを押します。

■ ノイズリダクション

録音した内容にノイズが多いとき、ノイズリダクションを働かすとノイズを軽減できます。
再生中に、フォルダ/NRボタンを押すと、ノイズリダクションが働きます。
押すごとに、01、02、oFFと変わります。聞きやすい位置にしてください。

- 再生中、NRマークが点灯します。
- oFFにすると解除されます。
- 再生が終了すると解除されます。

■ ステレオ再生

ステレオ録音されたファイルを選ぶと、STマークが点灯します。

- ステレオ録音されたファイルは、付属のイヤホーンでお聞きください。
- 内蔵スピーカーからは、左右のチャンネルの音がミックスされた音声が出力されます。
- モノラルのイヤホーンを接続したときは、Lチャンネルだけが出力されます。

メニューの設定

メニュー設定は、メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP(録音モード設定)→→VOR(自動録音設定)→ALI→AL2(アラーム設定)→PR(タイマー予約設定)→CL(時計設定)→bE(ビープ音設定)→Vt(ボイスタイトル設定)→Fo(フォーマット)の順に変わります。

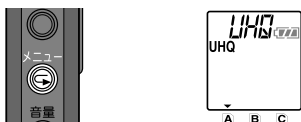
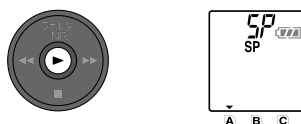
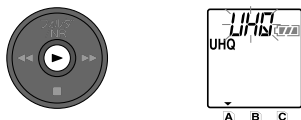
■ 録音モードの設定

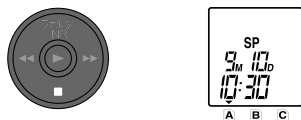
出荷時は、UHQモードに設定されています。

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「UHQ」に合わせる

3 再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「UHQ」、「HQ」または「SP」を選ぶ

5 再生ボタンを押す

6 停止ボタンを2回押す

お知らせ

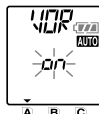
- UHQ、HQモードに戻すには、操作手順4でUHQまたはHQにします。

■ 自動録音の設定

出荷時は、oFFに設定されています。

o n ：録音を始めると、音が小さいときには、自動的に録音を一時停止にします。

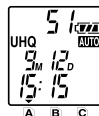
oFF ：自動録音が解除されます。

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「VOR」を選ぶ

3 再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「on」にする

5 再生ボタンを押す

6 停止ボタンを押す

メニューの設定(つづき)

■ アラームの設定

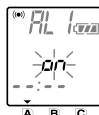
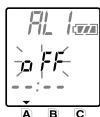
アラーム設定(二つの時刻を登録できます)をしておくと、設定した時刻にアラーム音で知らせます。時計が設定されていないときは、アラーム設定はできません。

例えば、AL1に15時30分を設定する

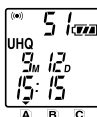
1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「ALI」または「AL2」を選ぶ

3 再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「on」にする

5 再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「時」を合わせる

7 再生ボタンを押す

8 サーチボタンで「分」を合わせる

9 再生ボタンを押す

10 停止ボタンを押す

お知らせ

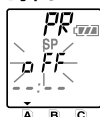
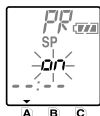
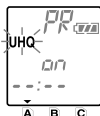
- 設定した時刻になると、電源が入り、“((•))”が点滅し、アラームが約50秒間鳴ります。ただし、録音中はスピーカーからは鳴りません。
- 途中でアラームを止めるには操作ボタンを押します。ホールドスイッチがはいっていても止められます。
- 一度動作すると、自動的にoFF設定になりますが設定時刻は保持されます。
- ALIとAL2を同時刻に設定したときは、ALIが動作後AL2もoFF設定になります。

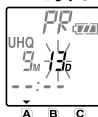
■ タイマー予約の設定

タイマー予約をしておくと、設定した日時に録音ができます。時計が設定されていないときは、タイマー予約の設定はできません。

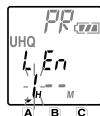
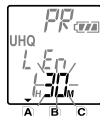
例えば、9月13日 13:00から1時間30分UHQモードで予約する場合

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「PR」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「on」にし、再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「録音モード」を選び、再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「予約月」を合わせ、再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「予約日」を合わせ、再生ボタンを押す

7 サーチボタンで「開始時」を合わせ、再生ボタンを押す

8 サーチボタンで「開始分」を合わせ、再生ボタンを押す

9 サーチボタンで「録音時間」の「時」を合わせ、再生ボタンを押す

10 サーチボタンで「分」を合わせ、再生ボタンを押す

11 停止ボタンを2回押して電源を切る

- 電源を切っても、“PR ”が点灯しタイマー予約が設定されていることを知らせします。タイマー録音が終了すると消えます。

お知らせ

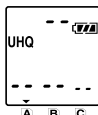
- 最大録音時間は、メモリーの空き容量により自動的に計算されます。長く録音したい場合は不要なファイルを削除してください。
- 設定した時刻になると、電源がはいり、録音が開始されます。
- 開始時刻になっても、実際に録音が始まるまで2〜3秒かかります。
- 途中で予約録音を止めるには停止ボタンを1秒以上押します。
- 予約録音を終了すると、自動的にoFF設定になります。

メニューの設定(つづき)

■ 時計の設定

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時刻合わせをしておく必要があります。この時計は、24時間表示です。

例えば、2003年9月10日の10時30分に合わせる

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「CL」に合わせ、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「年(Y)」を合わせ、再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「月(M)」を合わせ、再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「日(D)」を合わせ、再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「時」を合わせ、再生ボタンを押す

7 サーチボタンで「分」を合わせ時報などと同時に再生ボタンを押す

8 停止ボタンを2回押して電源を切る

お知らせ

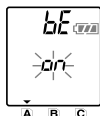
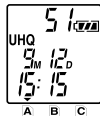
- 時刻を合わせないで録音すると、録音した日付と時刻が“1$_M$01$_D$ / 0$_H$00$_M$”で表示されます。
- 時刻を合わせていないとアラーム設定(ALI、AL2)、タイマー予約(PR)の表示が出ません。

■ ビープ音の設定

ビープとは再生、録音、停止などの操作ボタンを押したときの確認音です。
出荷時は、onに設定されています

o n：操作ボタンの受付時、確認音が鳴ります。
oFF：操作ボタンの受付時、確認音は鳴りません。(アラームは鳴ります)

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「bE」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「oFF」にし再生ボタンを押す

4 停止ボタンを押す

お知らせ

- 録音中はビープ音は鳴りません。
- マイク感度スイッチ、ホールドスイッチを操作しても確認音は鳴りません。
- 停止中に、停止ボタンを押したときは、ピピッと2回鳴ります。

メニューの設定(つづき)

■ ボイスタイトルの設定

録音した内容にタイトルを7秒間録音することができます。録音済みの録音件数にもタイトルを録音することができます。

出荷時は、onに設定されています。

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「Vt」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「oFF」にし、再生ボタンを押す

4 停止ボタンを押す

■ フォーマット(メモリーの初期化)

録音・再生が正常に動作しないときは、フォーマット(メモリー初期化)してください。

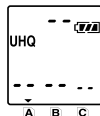
本機に内蔵のメモリーをフォーマットします。
本機に記録されているすべてのデータが消去されます。
重要マーク付きの録音件数も消去されます。

1 停止ボタンを押して電源を入れる

2 メニューボタンで「Fo」を選び、再生ボタンを押す

● “ Fo ”が点滅します。

3 消去ボタンを1秒以上押す

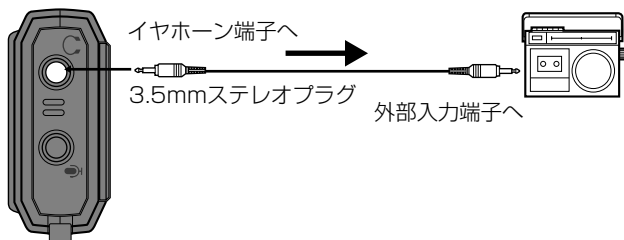
- フォーマットを開始し“ Fo ”とカウンター表示の“ ーー ”が点滅します。バーは左から一つずつ増えていきます。
- フォーマットが終わると、録音件数とカウンター表示の“ ーー ”が点灯に変わります。

お知らせとお願い

- 電源を入れたときに表示部に「For Err」と表示される場合があります。これはすでにメモリーの内容が異常をきたしており、復旧できない状態であることを表しています。この場合、必ず上記の方法でフォーマットをしてください。
- フォーマットしても正常に戻らない場合は、ご購入いただいた販売店に修理をご依頼ください。

録音した内容を保存したいとき

お手持ちの機器に合った市販の音声用コードを使用することで、本機の録音内容を、お手持ちのテープレコーダーなどに録音することができます。

準備

- 接続するときは必ず本機と接続機器の電源を切ってください。
- **接続機器の取扱いについては接続機器の取扱説明書をご覧ください。**

録音するときは、市販のステレオミニプラグコードを使用してください。

お願い

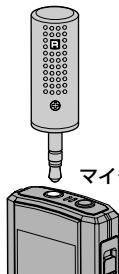
- 他の機器と接続するときは、スピーカーを破損することのないように、本機のボリュームを最小にしてください。
- 本機の電池を出し入れするときは、必ず接続機器の電源を切ってください。

外部マイクを使うとき

● 付属のステレオマイクについて

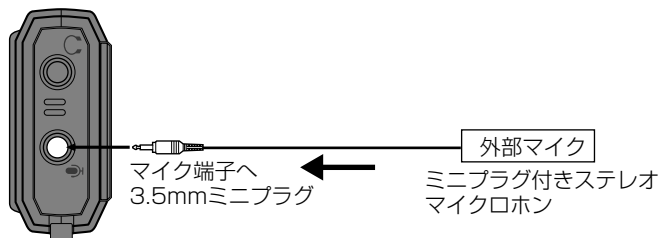
外部マイク端子に接続すると、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクからの音を録音します。プラグインパワー対応ですので、マイクの電源は本機から供給されます。
マイクの「L」表示側からの音がLチャンネルに、「R」表示側からの音がRチャンネルに録音されます。方向を確認して取り付けてください。

付属ステレオマイク
EMV-PS2

マイク端子へ

付属ステレオマイクの仕様

形式：エレクトレットコンデンサー型
指向特性：単一指向性×2(ステレオ)
感度：−47dB(0dB=1V/Pa,1kHz)
　　インピーダンス：2.2kΩ
電源：プラグインパワー方式
　　標準電圧2.0V(動作電圧1V〜10V)
最大外形寸法：φ12.5×45mm
質量：約5g
プラグ：ステレオミニプラグ(φ3.5mm)

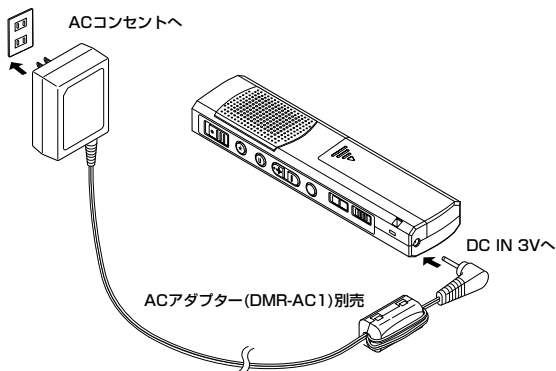
● 市販の外部マイクを使用する場合

プラグインパワー対応のマイクを使用するときは以下の仕様のマイクをご使用ください。
マイク入力：3.5mmミニジャックステレオ
インピーダンス：3kΩ以下
一部の機器専用マイクには使用できないものがあります。
モノラルマイクも使用できますが、Lチャンネルのみに録音されます。

別売のACアダプターを使うとき

長時間録音などをする場合、別売のACアダプター(DMR-AC1)を使用すると、電池消耗の心配がなく、便利です。

準備

● 接続するときは必ず本機の電源を切ってください。

● **取扱いについてはACアダプターの取扱説明書をご覧ください。**

お願いとお知らせ

- 本機には、別売ACアダプター(DMR-AC1)以外のACアダプターは使用しないでください。他のACアダプターを使用すると、故障の原因になります。
- 録音中はACアダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- ACアダプターを使用時は、電池マークは表示されません。

パソコンに音声を取り込むには

別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITPS)を使うことにより、以下のことができます。

- 本機で録音した音声ファイルをパソコンのハードディスクに保存できます。
- パソコンにデータ転送してパソコンで録音内容が聞けます。
  本機の独自ファイル(.dvr)を一般ファイル(.wav)に変換します。
- データ転送した後、パソコンでインデックスの追加や削除、重要マークの設定や解除、コメントの追加、録音した音声データの分割や結合ができます。また、パソコンで編集した音声ファイルを本機に戻して聞くことができます。
- DMR-KITPSはDMR-3500PS/1800PS専用アプリケーションソフトです。

● 必要なシステム構成

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機(NEC PC98シリーズとその互換機、Macintoshでは動作しません。自作PCでの動作は保証しません。また、推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません)

CPU：300MHz以上のPentium® IIまたはこれと同等以上のCPU(500MHz以上推奨。デュアルCPUのPCでは動作保証しません)

RAM容量：128MB以上

HDDの空き容量：160MB以上(音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です)

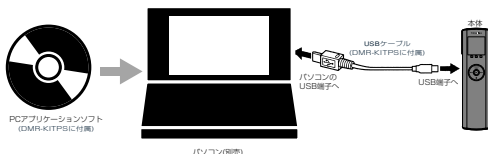
ドライブ：ＣＤ－ＲＯＭドライブ

接続ポート：USB（すべてのパソコン機種での動作を保証するものではありません)

ディスプレイ：800X600ドット以上の解像度、ハイカラー以上に設定

音源：16bit以上のサウンドカード

ＯＳ：

Windows®98SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional
(Windows 3.1/95/98およびWindows®NT MacOSには対応しておりません。また、他のOSからWindows® 98SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professionalへアップグレードした環境やマルチブート環境での動作は保証しません)

- IBM及びPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは米国およびその他の国々で登録された米国Apple Computer,Incの商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

故障かな…と思ったときは

故障かな？…とお思いのときはアフターサービスをご依頼になる前に、以下をお調べください。

	症状	原因	処置	参照ページ
電源	液晶が点灯しない。	●電池がはいっていない。	●電池を入れる。	8
		●電池が消耗している。	●電池を取り換える。	8
録音	FULL表示が出たとき。	●録音件数が199になっている。	●録音内容を消す。	18
		●メモリーがいっぱい。	●録音内容を消す。	18
	FIL 表示が出たとき。	●データがいっぱい。	●フォルダ内の全内容を消去する。	19
	録音できない。	●電池がはいっていない。	●電池を入れる。	8
		●電池が消耗している。	●電池を取り換える。	8
		●録音時間に余裕がない。	●録音内容を消す。	18
	録音モニターができない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	12
再生	再生ボタンを押しても再生しない。	●ホールドスイッチが「入」になっている。	●ホールドスイッチを矢印と反対方向にする。	20
		●録音内容がない。	●録音件数表示を確認する。	10
	スピーカーから再生音が出ない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	14
		●イヤホーンを接続している。	●イヤホーンをはずす。	15
	イヤホーンから再生音が出ない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	14
		●イヤホーンを接続していない。	●イヤホーンを接続する。	15
	音が割れる。	●音量調整が大きすぎる。	●音量を調節する。	14
	録音した日付・時刻が1M01D・0H00Mで表示される。	●時刻合わせがされていない。	●時刻を合わせる。	30

症状		原因	処置	参照ページ
その他	アラーム設定ができない。	●時刻合わせがされていない。	●時刻を合わせる。	30
	停止ボタンを押しても電源が切れない。	●ホールドスイッチが「入」になっている。	●ホールドスイッチを矢印と反対方向にする。	20
	サーチボタンを押すと、録音件数の途中で止まる。	●インデックスが付いている。	●インデックスの所で停止する仕様です。	21
	再生中、メニュー/⥽ボタンを押すと、録音件数の途中で繰り返し再生する。	●インデックスが付いている。	●リピート再生を解除する。	15
	For Err表示が出て、録音も再生もできない。	●メモリーの内容が異常をきたしている。	●フォーマット(メモリーの初期化)をする。	33

主な仕様

形　名	DMR-3500PS		DMR-1800PS	
外形寸法	118(高さ) x 32 (幅)x 13.5(厚さ) （mm）（突起部除く）			
質量	約35g（本体のみ）［約57g（電池含む）］			
電源	単四形電池（LR03）2本			
電池寿命　録音時	ステレオ録音　UHQ:約8時間、　モノラル録音　SP:約24時間			
電池寿命　再生時	ステレオ再生　UHQ:約10時間、モノラル再生　SP:約15時間 (音量調整 10の位置で、内蔵スピーカー使用時)			
電池寿命	電池寿命は使用条件によって短くなる場合があります。 上記は、常温（25℃）で東芝アルカリ乾電池（LR03）使用時(メーカーや在庫期間などで電池寿命が短いことがあります。特に低温時は、乾電池の性能が低下し、電池寿命が短くなります）			
録音方式	デジタル録音			
録音帯域	UHQ:150~18000Hz,HQ:200~10000Hz,SP:900~2000Hz			
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー			
最長録音時間	モノラル	ステレオ	モノラル	ステレオ
UHQモード	約5時間50分	約2時間57分	約2時間55分	約1時間28分
HQモード	約17時間05分	約8時間40分	約8時間30分	約4時間20分
SPモード	約34時間00分	約23時間00分	約17時間00分	約11時間25分
最大録音件数	A・B・C　各フォルダ　199件			
マイクロホン	内蔵エレクトレットコンデンサーマイクロホン(モノラル)			
マイク入力	マイク(3.5mmジャック/ステレオ)、適合インピーダンス3kΩ以下 最小入力レベル： 4mV			
イヤホーン出力	イヤホーン(3.5mmステレオジャック)、適合インピーダンス8Ω以上 出力：6mW+ 6mW (16Ω負荷)			
スピーカー	直径 23mmセラミックスピーカー (公称容量:約1.6μF,1kHz時インピーダンス:約100Ω) 、出力：19mW			
USB端子	ミニUSB　タイプB			
時刻表示	24時間デジタル表示			
使用条件	温度：0℃～40℃			
付属品	ステレオイヤホーン(3.5mmステレオプラグ)、ステレオマイク(EMV-PS2)、東芝アルカリ乾電池単四形（LR03）2本、キャリングポーチ、取扱説明書(本書)			

●意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

■付属の電池について

- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いこともありますがご了承ください。

■イヤホーンについて

- 付属のイヤホーンはダイナミックタイプです。

お知らせ

商品のアフターサービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』 フリーダイヤル 0120-1048-41(365日・24時間受付)

※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

DMR-3500PS/1800PSに関するお問い合わせ

『ボイスバーサポートセンター』

フリーフォン：無料 0037-80-1048

(通話料、サポート料金は無料です)

※フリーフォンは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

携帯電話からのご利用は (一般回線、CATV回線からも使用できます)

ナビ ダイヤル：0570-05-5520 (通話料　有料)

(サポート料金は無料です)

※ナビダイヤルは、PHS、FOMAなど一部の電話ではご利用になれません。

F　A　X　　：03-3258-0470

受付時間：（月～土）午前10時～午後8時

（年末年始、祝日、当社指定夏季休業日を除く）

インターネットで情報を....

ホームページから最新の商品情報やサービス・サポート情報等の発信をしています。ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。

■ http://www.toshiba.co.jp/webcata/it/_dmr.htm

上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照願います。

修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容など）の補償の責については、ご容赦ください。

1. 保証期間内でも以下の場合には有料修理になります。
   （イ） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ） お買いあげ後の落下、輸送等による故障および損傷。
   （ハ） 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ） 本書のご提示がない場合。
   （ホ） 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ） 一般家庭用以外（たとえば業務用）にご使用の場合の故障および損傷。
   （ト） ご使用による容器のよごれおよび損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
4. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid in Japan.
6. ご転居の場合は事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
7. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、保証書に記載されている連絡先へご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担　当
年　月　日		
年　月　日		

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買いあげの販売店へご相談ください。

東芝メモリーレコーダ保証書

形　名	DMR-3500PS/DMR-1800PS		
★お客様	お名前	ふりがな　　　　　　　　　　　　　　様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　　　市内　　　番号　　　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　　年　　月　　日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社

〒 105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

電話（03）3457-8558

本書は、取扱説明書の記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障したときは、お買いあげの販売店に本書と商品をご持参のうえ、修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。　　　　（裏面をご覧ください）

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社

〒 105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

GX1C0002P311Y10

Printed in China　　79100455